

我等松若

題字は

初代監督 故・松島正吉先生

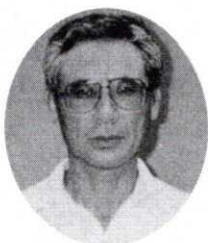
H.11.1 Vol.11-1

第20号

第47回全国高校駅伝大会御礼と御報告

■陸上部後援会

会長 鈴木 章介



■陸上部父母の会

会長 岸端 篤



皆様益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

先般行われました全国駅伝大会の出場に際し、多大なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年は昨年の雪辱を果たし、また浜松商業100周年という節目の全国大会出場を目標に、一年間努力をしまいいりました。そして、県大会では見事優勝を果たし、入賞を目標に大応援団とともに京都に乗り込みました。

結果は主力選手の怪我に見舞われ思うような成績を残せませんでした。この試合で得た経験を次回に活かし、監督・選手は必ず皆様の期待に応える活躍をしてくれるものと信じております。

今後も皆様のご協力を仰ぎ陸上競技部を支援していきたいと思ひます。

この度のご好意に今一度お礼を申し上げ、ご報告とお礼の言葉と致します。

寒さ厳しき折、皆様方におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、陸上部の活動に対しまして、御理解、御協力を戴き厚く御礼申し上げます。

又、この度の全国高校駅伝出場に際しましては、物心ともに絶大な御支援、御尽力を賜わり、誠に有難うございました。

結果は、応援団、選手一同満足できるものではなかったと思いますが、精一杯都大路を走り抜いた選手達は、学校創立100年の歴史に新たな1ページを加えてくれたのではないかと思います。

今後も更に努力精進し、浜商陸上部の伝統を守るよう頑張ってくれることと思ひますので、末長く御指導、御支援の程宜しく御願ひ申し上げます。

本当にありがとうございました。

第49回全国高校駅伝特集



■陸上部監督

杉井 将彦 (34回卒)

希望にあふれる新年を迎え、皆様方には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は浜松商業高校陸上競技部に多大なる御支援御協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月20日に京都で行われました第49回全国高等学校駅伝競走大会に、本校陸上競技部が2年ぶり15回目の出場をさせていただきました。

今回の大会は東海高校駅伝で好結果が出たことから、入賞を狙い準備してきました。しかし、10日前に主将・勝亦の大腿部筋膜炎、6日前には河合が右足に痛み、5日前に竹内が膝に痛みと、主力選手3人に故障が出てしまいました。勝亦の怪我だけが回復してきましたが、大会4日前まで練習もできない状態が続いてしまいました。チーム全体が不安な雰囲気にも包まれた状態で京都に入ることになりました。しかし、河合の足から痛みが消えてきたことから、河合を6区に入

れたオーダーを前日に提出。一時はこれで10位～20位の間を期待できるかと明るい兆しが見えたのですが、やはり痛みを完全に消すことができず、大会当日、選手の変更をすることになりました。

12時30分、西京極陸上競技場をスタートし、1区勝亦利彦(3年)は前半から落ち着いたレース運びで怪我による練習不足を全く感じさせず、区間14位でタスキを2区 橋本修司(3年)につないだが、2区橋本区間40位、3区 加藤 巧(2年)区間30位、4区 白井孝佳(3年)区間29位、5区 長谷英孝(3年)区間42位、6区 江森 慎(1年)区間42位と、突然のオーダー変更で全き力を出せないまま順位も29位まで下げてしまいました。しかし、7区 中村淳一(2年)が、区間12位の14分50秒の走りで25位まで順位を上げゴールをすることができました。

当初の目標から考えますと、とても納得できる訳もなく、選手達は打ちひしがれて閉会式に参加をしていました。1,2年生の残る選手達は来年度は万全の状態大会に臨み、上位入賞を出来るよう一層の努力をしていきたいと考えています。また私も、もう一度勉強し直し、来年度に向け頑張りたいと考えておりますので、これからも御支援の程を宜しく御願い申し上げます。

男子第49回全国高校駅伝競走大会成績=7区間42.195キロ

上段丸囲み数字は通過順位と通過タイム。下段丸囲み数字は個人順位とタイム。※は区間新

順位	校名	1 区 (10* ₀)	2 区 (3* ₀)	3 区 (8.1075* ₀)	4 区 (8.0875* ₀)	5 区 (3* ₀)	6 区 (5* ₀)	7 区 (5* ₀)
		選手名 順位 時間	選手名 順位 時間	選手名 順位 時間	選手名 順位 時間	選手名 順位 時間	選手名 順位 時間	選手名 順位 時間
①	西脇工 (兵庫)	中尾 ②29.33	藤原 ②38.00 ④ 8.27	清水将 ①1.02.25 ② 24.25	藤井 ①1.25.52 ② 23.27	清水智 ①1.34.51 ② 8.59	中谷 ①1.49.34 ② 14.43	森口 ①2.03.32 ② 13.58
②	大牟田 (福岡)	野村 ④30.06	谷合 ④38.35 ⑧ 8.29	大津 ②1.03.17 ③ 24.42	松田 ②1.27.09 ④ 23.52	吉橋 ②1.36.07 ① 8.58	尾田 ②1.50.38 ① 14.31	及川 ②2.05.24 ⑧ 14.46
③	洛南 (京都)	浅尾 ⑩30.26	山田 ⑦38.50 ⑧ 8.24	大西 ⑥1.03.42 ⑥ 24.52	春田 ⑥1.27.37 ⑥ 23.55	舟越 ④1.36.44 ④ 9.07	浅井 ④1.51.43 ⑨ 14.59	楠本 ③2.06.22 ③ 14.39
④	佐久長聖 (長野)	宮入 ⑩30.31	佐藤 ③38.26 ① 7.55	松崎 ④1.03.23 ⑧ 24.57	高見沢 ④1.27.26 ④ 24.03	矢島 ④1.36.37 ⑧ 9.11	小出 ④1.51.38 ① 15.01	小島 ④2.06.30 ④ 14.52
⑤	埼玉栄 (埼玉)	岡本 ⑩30.29	和田 ⑩38.58 ⑧ 8.29	阿部 ⑩1.04.14 ⑩ 25.16	川上 ⑧1.27.51 ② 23.37	井上 ⑦1.37.00 ⑤ 9.09	徳田 ④1.52.12 ② 15.12	山内 ⑥2.06.37 ② 14.25
⑥	鎮西 (熊本)	松下 ⑧30.23	久田 ⑨38.52 ⑧ 8.29	村田 ⑥1.03.50 ④ 24.58	菅野 ⑥1.28.00 ② 24.10	宮崎 ⑥1.37.13 ② 9.13	古庄 ④1.52.00 ④ 14.47	吉田 ⑥2.06.42 ⑤ 14.42
⑦	東農大二 (群馬)	品川 ⑩30.25	森田 ④38.52 ④ 8.27	飯塚 ⑦1.03.47 ⑦ 24.55	川島 ③1.27.25 ③ 23.38	鈴木 ⑥1.36.52 ⑨ 9.27	内田 ④1.51.44 ⑤ 14.52	北向 ⑦2.06.50 ③ 15.06
⑧	有田工 (佐賀)	岩永 ⑩30.21	北川 ⑩38.56 ⑧ 8.35	藤川 ⑥1.03.34 ② 24.38	立石 ⑦1.27.42 ⑩ 24.08	赤熊 ⑥1.37.10 ⑩ 9.28	榎渡 ④1.52.06 ⑧ 14.56	山口 ⑥2.07.12 ③ 15.06
⑨	米子商 (鳥取)	井中 ③30.02	光本 ⑥38.43 ③ 8.41	松田 ④1.03.33 ④ 24.50	原 ⑤1.27.27 ⑤ 23.54	坪倉 ⑥1.36.59 ③ 9.32	秦野 ⑥1.52.12 ③ 15.13	橋 ⑨2.07.33 ③ 15.21
⑩	仙台育英 (宮城)	ワイナ イナ ①29.24	門間 ④37.57 ⑧ 8.33	野村 ⑥1.03.53 ② 25.56	佐竹 ⑥1.29.12 ③ 25.19	赤坂 ⑥1.38.24 ① 9.12	渋谷 ④1.53.28 ② 15.04	木村 ⑥2.08.13 ⑥ 14.45
⑪	浜松商 (静岡)	勝亦 ④30.35	橋本 ⑤39.30 ④ 8.55	加藤 ②1.05.32 ③ 26.02	白井 ⑤1.30.34 ② 25.02	長谷 ⑤1.40.08 ④ 9.34	江森 ②1.55.54 ④ 15.46	中村 ⑤2.10.44 ② 14.50

主軸欠場、無念の25位

エースの意地 けがに打ち勝つ力走



第4中継所で白井孝佳から長谷英孝にタスキが渡る=京都市内で



力強く1区を駆け抜けた浜商の勝亦(右)は2区・橋本にタスキをつなぐ=京都市鳥丸鞍馬口の第1中継所

【男子】正午現在、曇りで気温二三・九度、無風のやや暖かいコンディションの下、男子は午後零時三十分、四十七都道府県代表チームが一斉にスタート。一区(10キロ)ではエースで主将の勝亦利彦が速いペースの中、第二集団の中心をキープ。「終盤の下りでペースを上げられなかった」と言いながらも14位で二区(3キロ)の橋本修司へつないだ。

東海大会からレギュラー入りした橋本は「三年間の結果を見せたい」と意欲的に飛び出し、混戦模様の中で粘って、一つ順位を下げてただけで三区(8・1075キロ)へ。準エース区間の三区に起用された加藤巧は「前半を抑えず後半伸びなかった」と21位まで順位を下げた。

四区(8・0875キロ)は県大会でもこの区間を走った白井孝佳だったが、「前半でペースが上がって後半が苦しくなった」と25位に後退。五区(3キロ)の

長谷英孝も「二十キロほど前を走る選手を抜こうと思っただけ」と前半からややオーバーペース。なんとか25位を守って六区(5キロ)へ。六区は最終オーダーでエントリされた河合恵悟の右足故障でこの日、急きょ変更された江森慎。「前日から起用されることは考えていた」と言つものの、他の選手と同様、オーバーペースになり、29位まで後退した。

中盤以降で順位を下げるいやなムードを振り払ったのが七区(5キロ)の中村淳一。二年生ながら「見える選手はみんな抜こう」と力走。区間12位の走りで四人をかわし、25位でゴールした。

大会直前になっての主力選手を含む故障者の続出で、大幅なオーダー変更をした末の25位。杉井将彦監督は「きょうはゴールしただけでも満足しなければ。その中で勝亦や中村が好走してくれたのは収穫だった」と締めくくった。

都大路をかけぬけて



1区 勝亦利彦(3年)

試合前にけがをし万全な体調でなかったが、全国のトップレベルと一緒に走れる自信がついた。大学1年から箱根(日本大学)で走れるようがんばりたい。



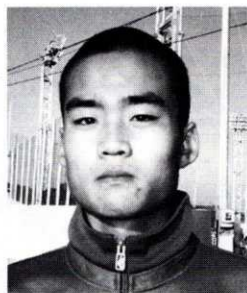
6区 江森 慎(1年)

全国大会に出場し、そのスケールを肌で感じた。また、自分との戦いでもあると思った。来年また京都を目指して、先輩たちと一緒にいい成績を上げたいです。これからもチャレンジ精神を忘れないように心掛けたい。



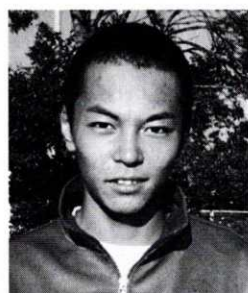
2区 橋本修司(3年)

初めての大会で、上位でタスキを受けることが予想されたが、緊張してゆとりを持って走ることができなかった。1月の県駅伝では地元を走り、区間賞を取りたい。卒業後は実業団(NTN)でがんばります。



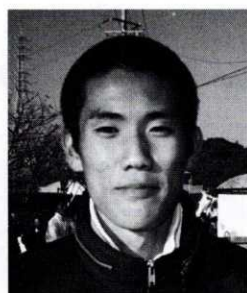
7区 中村淳一(2年)

全国大会ではよい結果を残せましたが、まだまだ上がありますので来年は優勝争いをしたいです。



3区 加藤 巧(2年)

自分の思うように走れなくて残念だった。前半抑えすぎて、後半リズムに乗れなかった。全国大会は応援など規模が大きくてすごかった。来年も県大会で勝ち、また3区を走りたい。



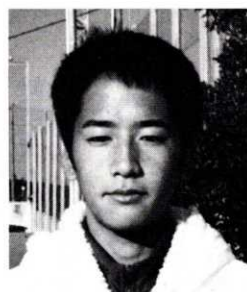
補欠 宮崎好生(3年)

出場できずくやしかった。これをいい経験だと思い、このくやしさをバネに実業団(トヨタ自動車)でがんばります。3年間陸上部で走れて幸せでした。



4区 白井孝佳(3年)

全国大会は経験不足が出てしまい、くやしい結果でした。応援がすごく、走れてうれしかった。来年もがんばってみんなに出場してほしい。全日本大学駅伝(愛知大学)を目指してがんばります。



補欠 河合恵悟(2年)

自分の体を管理できなかった点を反省しています。インターハイに向けてもう一度初心に戻りがんばります。



5区 長谷英孝(3年)

精神面の弱さを感じた。浜商のユニフォームを着て都大路を走れて良かった。大学(中央大学)で箱根を目指します。



補欠 竹内賢弥(1年)

体調管理がうまくいかずけがをしたので、これからの反省点とします。インターハイ出場に向けがんばります。

京都駅伝紀行パートV

卒業して早4年浜商陸上部OBとして都大路へ応援に行くのは今回が初めて、早朝4時半浜商出発、選手時代には考えもしなかった応援の方々の大変さがおおいに身にしました。スタンドから見た選手紹介、これほど多くの人々の声援を受けていたのかと思うと感激もひとしおです。私はタクシーをチャーターし、伊藤先輩(43回卒)、同期の大石先生(46回卒)、タスキを渡した藤田君(47回卒)達と選手を追いかけてきました。

1区の9キロ地点、声を限りに勝亦を応援、車に飛び乗り3区に移動、加藤の到着をしばし待つ。順位はすこし下げたけれども、力強い走りで折り返し地点へ向かった。先ほどの天気も嘘のように小雨が落ちてきた。4区白井が刻々と近付いてきた、練習を

しておいた白井コールを大応援団がいっせいに始めた。後半の健闘を期待したい。またもや車に飛び乗り、6区残り1キロ地点へ向かう、ここは4年前自分が走った懐かしのコースであるので胸が高鳴りました。江森に声をかけ急いで西京極に戻る。結果は残念であったが選手達の健闘を大いにたたえたい。来年もこの感動を味わいに必ずくるぞ!



46回卒

松本泰也 (まつもと やすなり)

プロフィール /

平成5年 全国高校駅伝準優勝
キャプテン6区

平成7年 全国日本実業団駅伝出場
(スズキ株式会社)

現在 マルケイCR情報サービス
(保険代理店)を営む

特別会員制度 発足

この度、特別会員制度が新設されました。

特別会員とは

- ①陸上部の発展に功績があった諸先生及び後援者
 - ②会員または執行部の推薦があり、理事会にて承認された者
- 以上2項目を満たした者とします。

特別会員寄稿第2回 「頑張れ浜商生」



県議会議員

内山隆司

浜商陸上部の活躍の報道を見るにつけ、浜商OBの私としては、我が事のように嬉しいかぎりであります。

全国レベルでの活動をしている陸上部員には勉強とスポーツの両立で大変なことは言うまでもありませんが、母校の名誉と、自分自身の青春の思い出の一つとしても思いっきり頑張っていたきたいと思います。

浜商ファンの皆さんも是非、生徒諸君の激励の為にも格別なご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶いたします。

内山隆司氏プロフィール / 浜商第9回卒 昭和50年 静岡県議会議員 当選以来、県議会総務、労働、警察常任委員長、議会運営委員長 及び廃棄物対策特別委員長を歴任。現在5期目。

皆様 ご支援、ご声援ありがとうございました

(50音順)

内山隆司会計事務所

浜松市元城町113-15

遠州信用金庫

理事長 守田吾郎(旧42回卒)

(株)木伏電気工業所

木伏芳夫(旧制44回卒)
浜松市中島2丁目5番15号

スズキ(株)

浜松市高塚町300

(株)太洋サービス

浜松市篠原町9254-2

中部ガスグループ

- 中部ガス(株)
- ガステックサービス(株)
- (株)中部
- 中部住宅販売(株)
- 中部ガス不動産(株)
- 新協オートサービス(株)

ムトウ(株)

浜松市佐藤町672

(株)ユタカ技研

浜松市豊町508-1

収支報告

助成金 (797口)	5,052,500	全国大会助成金	2,800,000
		応援費	857,560
		壮行会費	59,319
		印刷郵送費	300,000
		雑費	150,000
		記念品代	300,000
		繰越し金	585,621
計	5,052,500	計	5,052,500